

2025年12月実施

# 【主婦のAI活用に関する調査】

## 自主調査レポート

株式会社one  
東京都新宿区神楽坂6-42 神楽坂喜多川ビル 3F  
03-6826-6560

# 目次

■ 調査概要

■ 回答者属性編

■ 調査結果詳細編

# 調查概要

調査目的	2025年は生成AIの社会実装が本格的に進んだ「AIエージェント元年」とされ、こうした技術進化が家事や育児、家計管理など主婦の日常にも広がり始めている今、その実態と意識を明らかにする。
調査対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>・全国の18歳以上の既婚女性 1,000人</li><li>・条件：普段の生活で月に数回以上AIを利用する方</li></ul>
サンプル数	1,000サンプル
調査手法	インターネット調査
調査時期	2025年12月3日(水)～2025年12月5日(金)
調査結果の見方	<ul style="list-style-type: none"><li>・nは回答者数を表している。</li><li>・回答率(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。</li><li>・設問の回答には、単一回答と複数回答がある。複数回答の設問は、回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。</li><li>・nが30未満の数値は参考値とする。</li></ul>

# 調査項目

## フェース質問

F1	SA	性別
F2	NA	年齢
F3	SA	居住地域

## SC調査

SC1	SA	婚姻状況
SC2	MA	同居家族
SC3	SA	就業状況
SC4	SAMT	AIの利用状況
SC5	MA	AIを利用しない理由

## 本調査

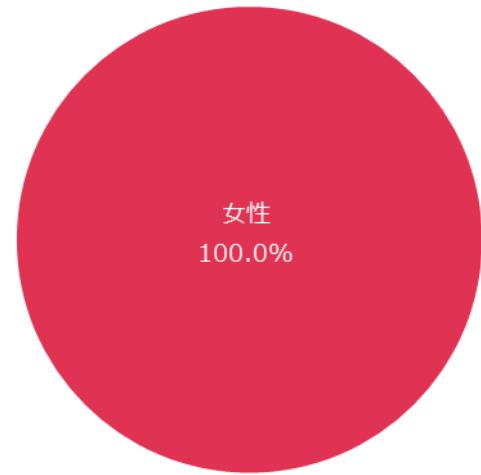
Q1	MA	AIを利用するデバイス
Q2	SA	AIの利用方法
Q3	MASA	利用しているAIサービス
Q4	MA	AIの利用場面
Q5	SA	AIの利用時間
Q6	SA	AIを使うことで生活が楽になったかどうか
Q7	MA	生活が楽になったと感じる場面
Q8	FA	おすすめのAIの使い方
Q9	FA	AIを使うことで増えた良い習慣
Q10	MA	AI利用の不安点
Q11	FA	AIを使って、困ったこと・誤解が生まれたこと
Q12	FA	AIを使って、助かった・救われたエピソード
Q13	SA	今後のAI活用意向
Q14	MAMT	子どものAI活用状況
Q15	FA	子どものAI活用における家庭内のルール

SA(シングルアンサー)：単一回答、MA(マルチアンサー)：複数回答 FA(フリーアンサー)：自由回答

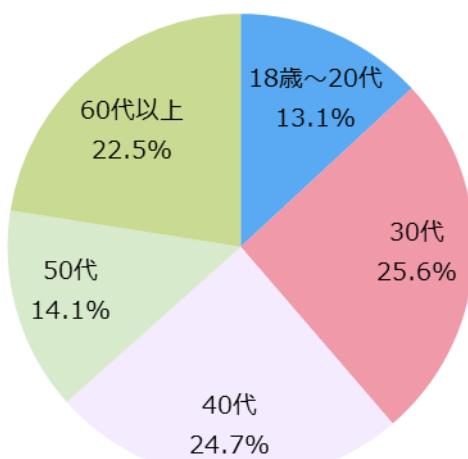
※NA：数値回答 ※MT：マトリクス(表組)

# 回答者属性編

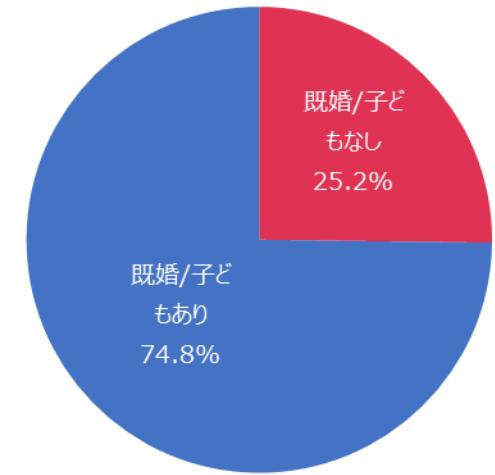
性別(n=1000)



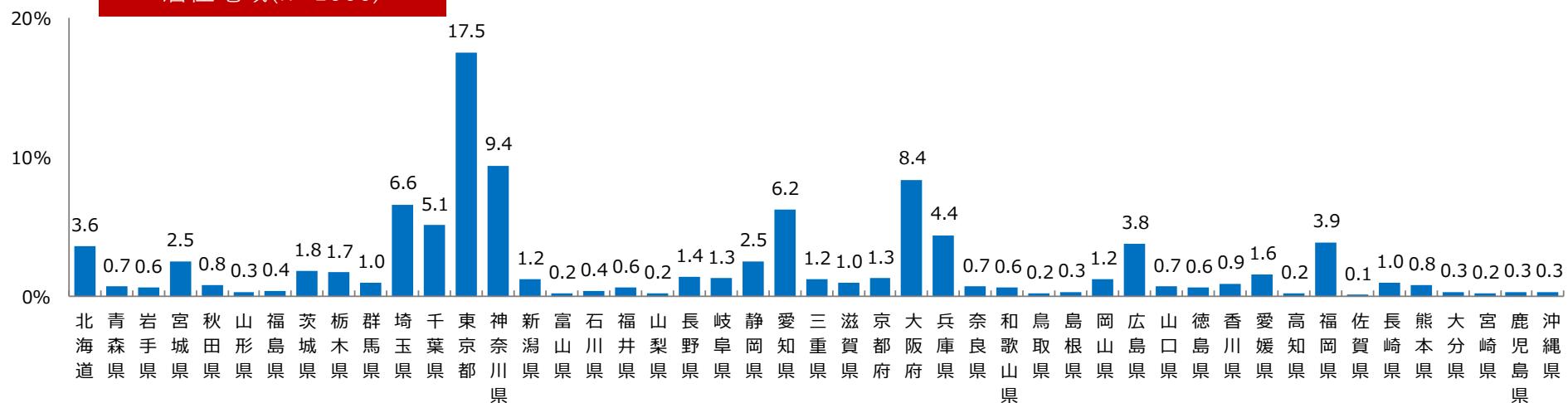
年代(n=1000)



婚姻状況(n=1000)

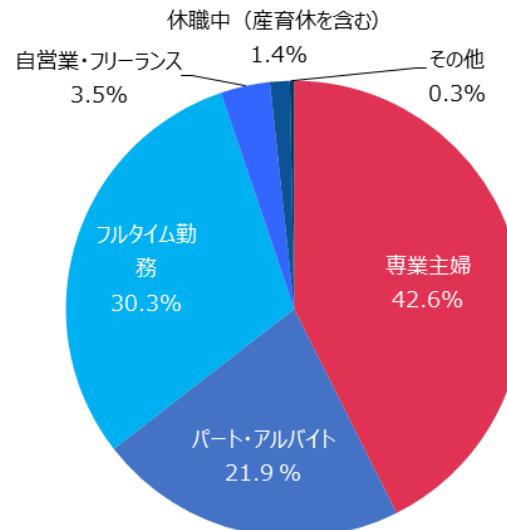


居住地域(n=1000)

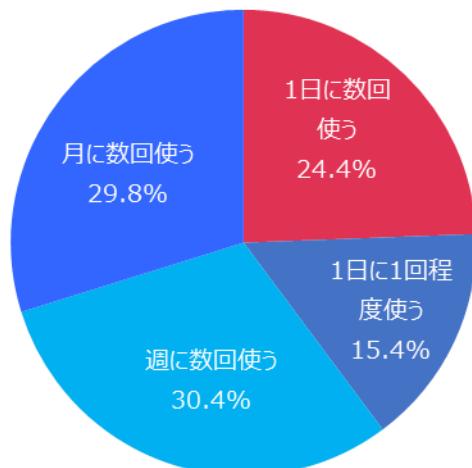


## 回答者属性編

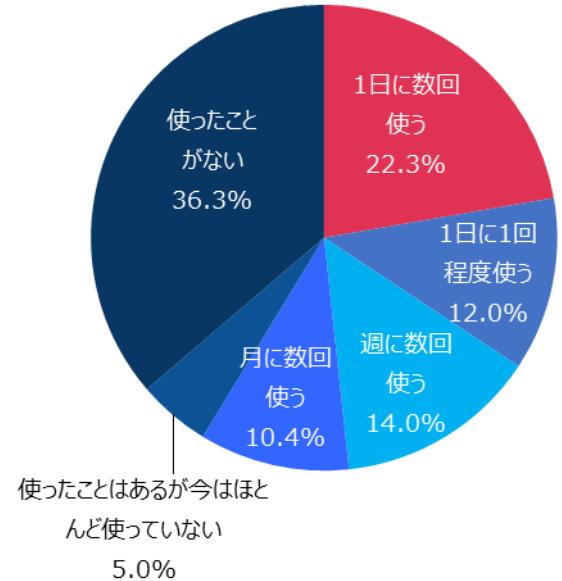
就業状況(n=1000)



普段の生活での利用状況(n=1000)



仕事での利用状況(n=557)



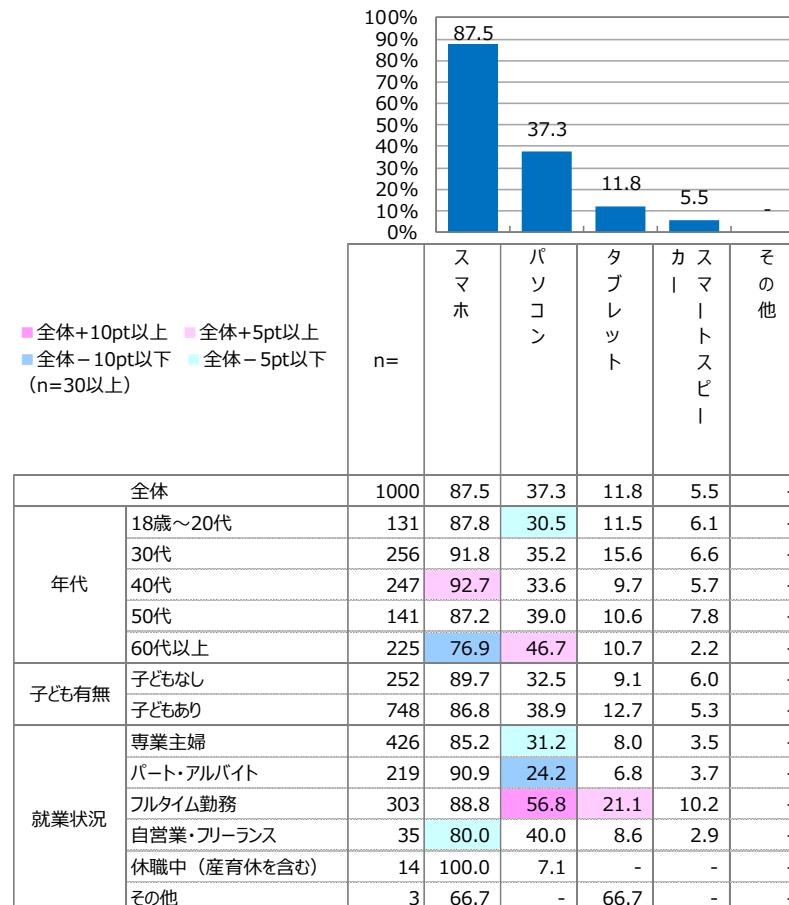
同居家族(n=1000)



# 本調査結果 詳細編

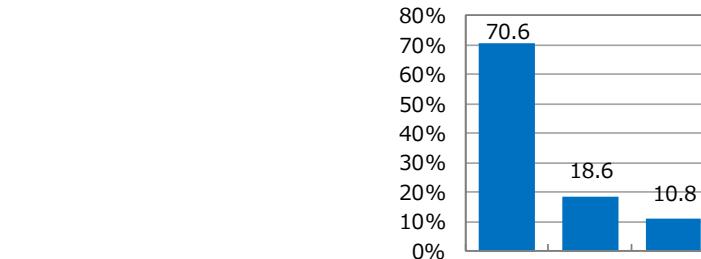
Q1 あなたはAIをどのデバイスで利用していますか。 (MA)

- AIを利用するデバイスについて最も高いのは、「スマホ」で87.5%である。次いで「パソコン」(37.3%)、「タブレット」(11.8%)、「スマートスピーカー」(5.5%)と続く。
- 就業状況別で見ると、フルタイム勤務では「パソコン」が56.8%と全体と比較して高い。



Q2 あなたはAIをどのような方法で利用していますか。(SA)

- AIの利用方法について最も高いのは、「文字入力が多い」で70.6%である。次いで「音声入力が多い」(18.6%)、「音声入力と文字入力が半々くらい」(10.8%)と続く。



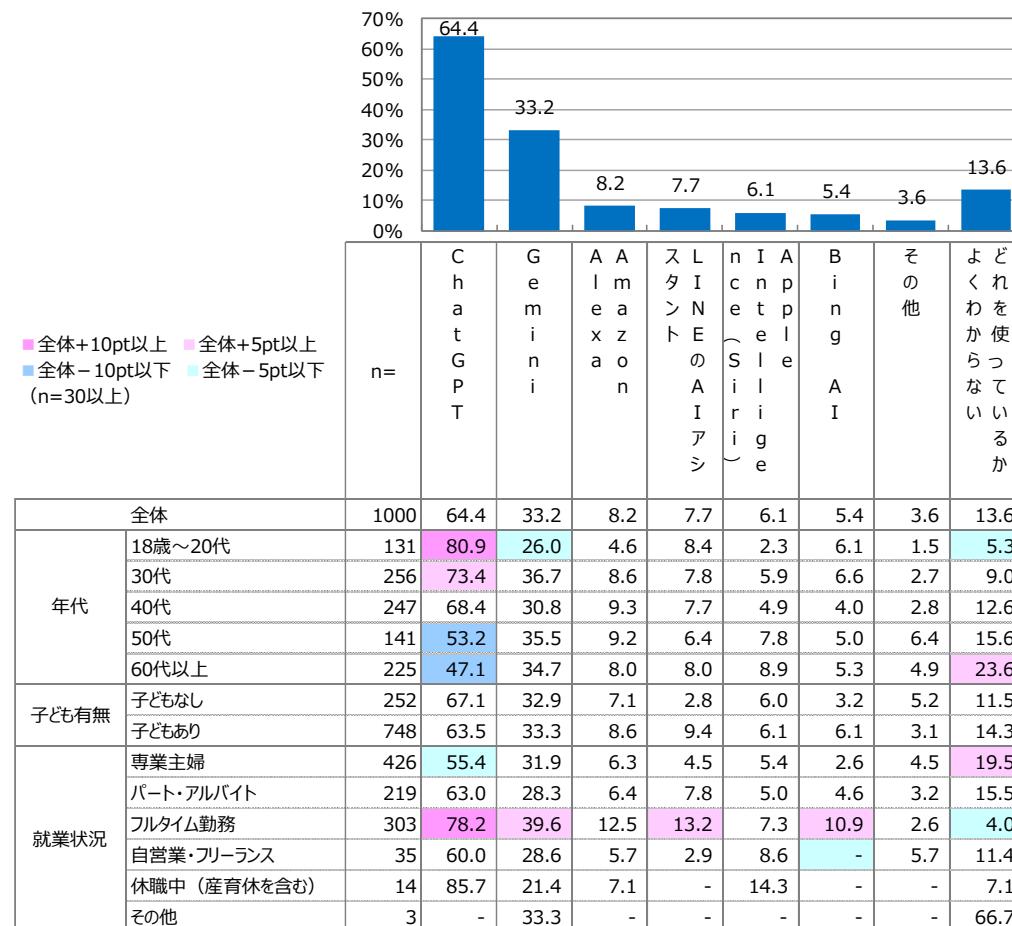
■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上  
 ■ 全体-10pt以下 ■ 全体-5pt以下  
 (n=30以上)

	n=	文字入力が多い	音声入力が多い	音声入力と文字入力が半々くらい
全体	991	70.6	18.6	10.8
年代				
18歳～20代	127	68.5	21.3	10.2
30代	255	71.8	19.2	9.0
40代	246	72.4	15.4	12.2
50代	139	73.4	13.7	12.9
60代以上	224	67.0	22.8	10.3
子ども有無				
子どもなし	249	76.3	12.4	11.2
子どもあり	742	68.7	20.6	10.6
就業状況				
専業主婦	422	73.5	16.6	10.0
パート・アルバイト	218	72.9	17.4	9.6
フルタイム勤務	299	63.2	22.7	14.0
自営業・フリーランス	35	71.4	22.9	5.7
休職中（産育休を含む）	14	100.0	-	-
その他	3	100.0	-	-

# 利用しているAIサービス【利用している】

Q3S1 [利用している]あなたが主に利用しているAIサービスを教えてください。 (MA)

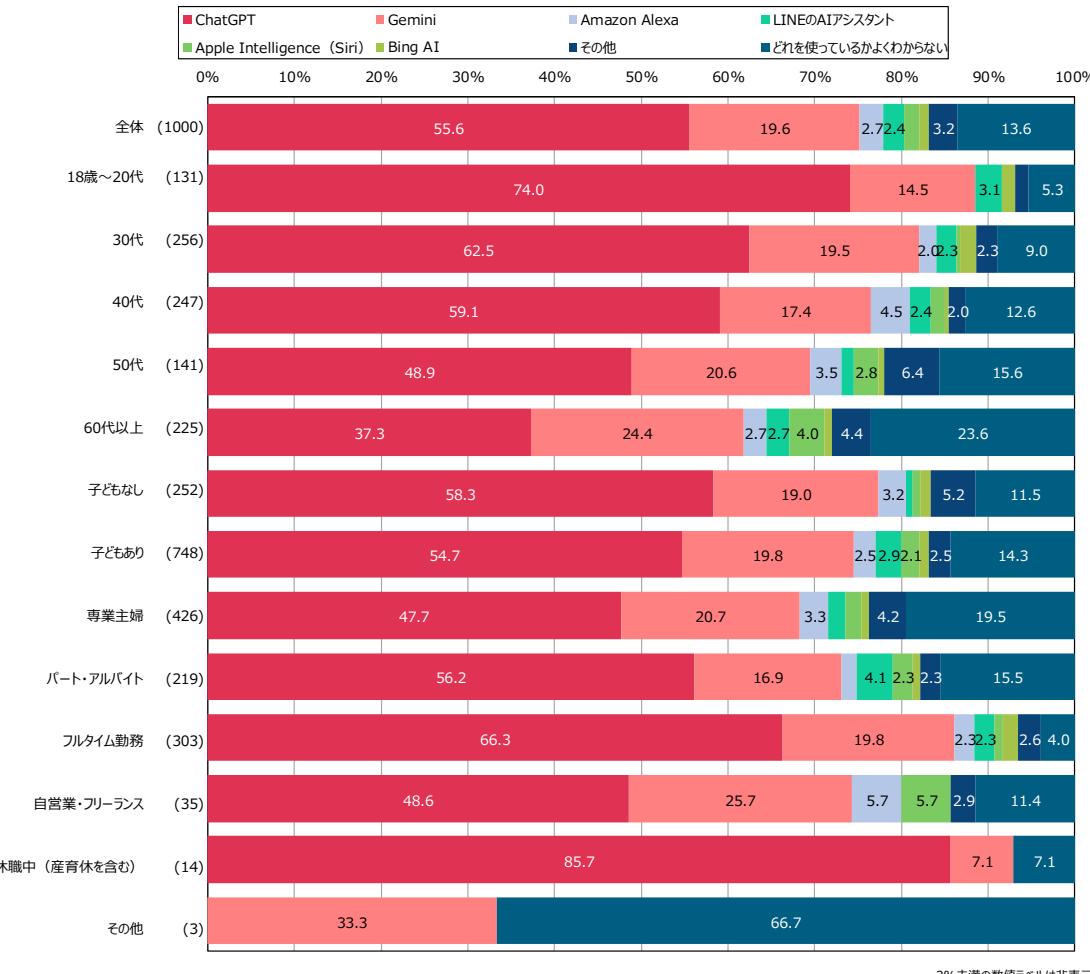
- 利用しているAIサービスについて最も高いのは、「ChatGPT」で64.4%である。次いで「Gemini」(33.2%)、「Amazon Alexa」(8.2%)と続く。
- 年代別で見ると、18歳～20代では「ChatGPT」が80.9%と全体と比較して高い。
- 就業状況別で見ると、フルタイム勤務では「ChatGPT」が78.2%と全体と比較して高い。



# 利用しているAIサービス【最も利用している】

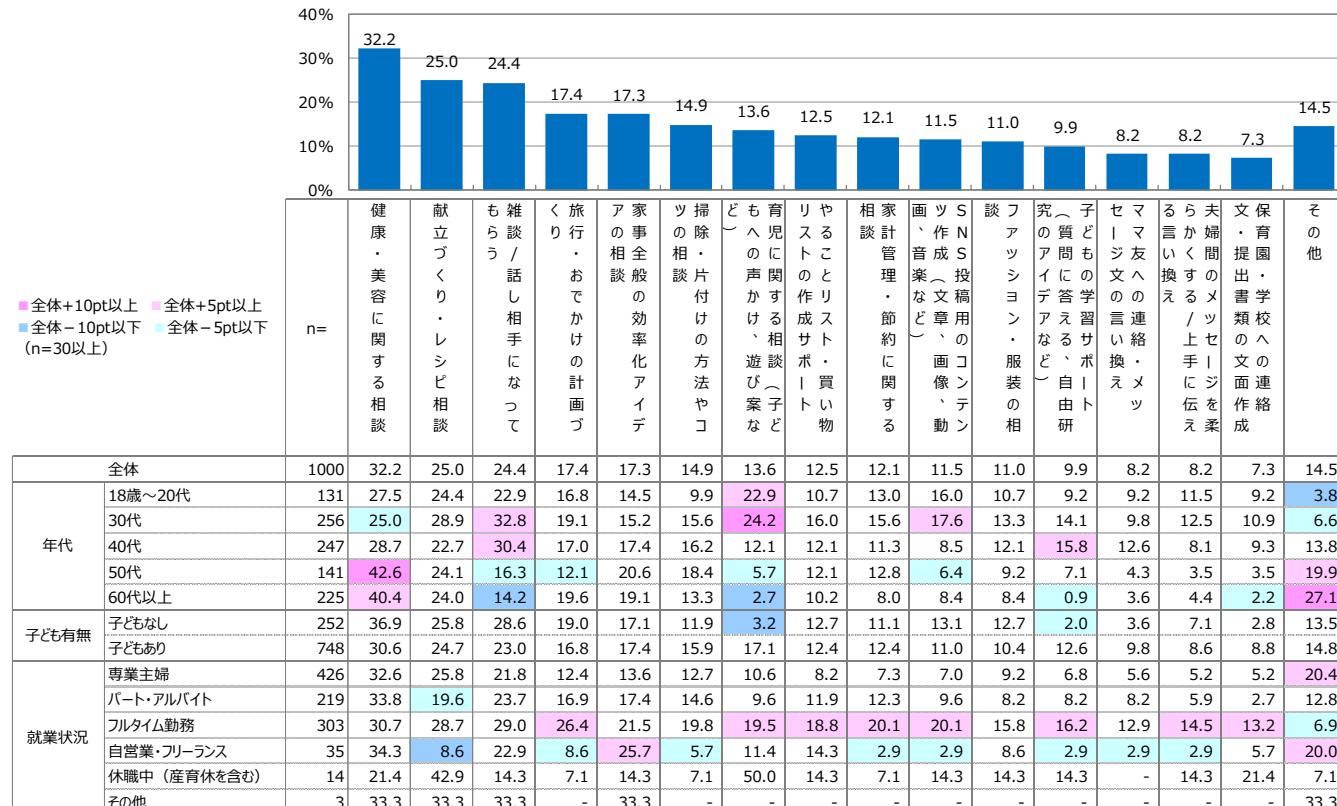
Q3S2 [最も利用している]また、その中で最もよく利用するAIサービスを教えてください。 (SA)

- 最も利用しているAIサービスについて最も高いのは、「ChatGPT」で55.6%である。次いで「Gemini」(19.6%)、「Amazon Alexa」(2.7%)と続く。



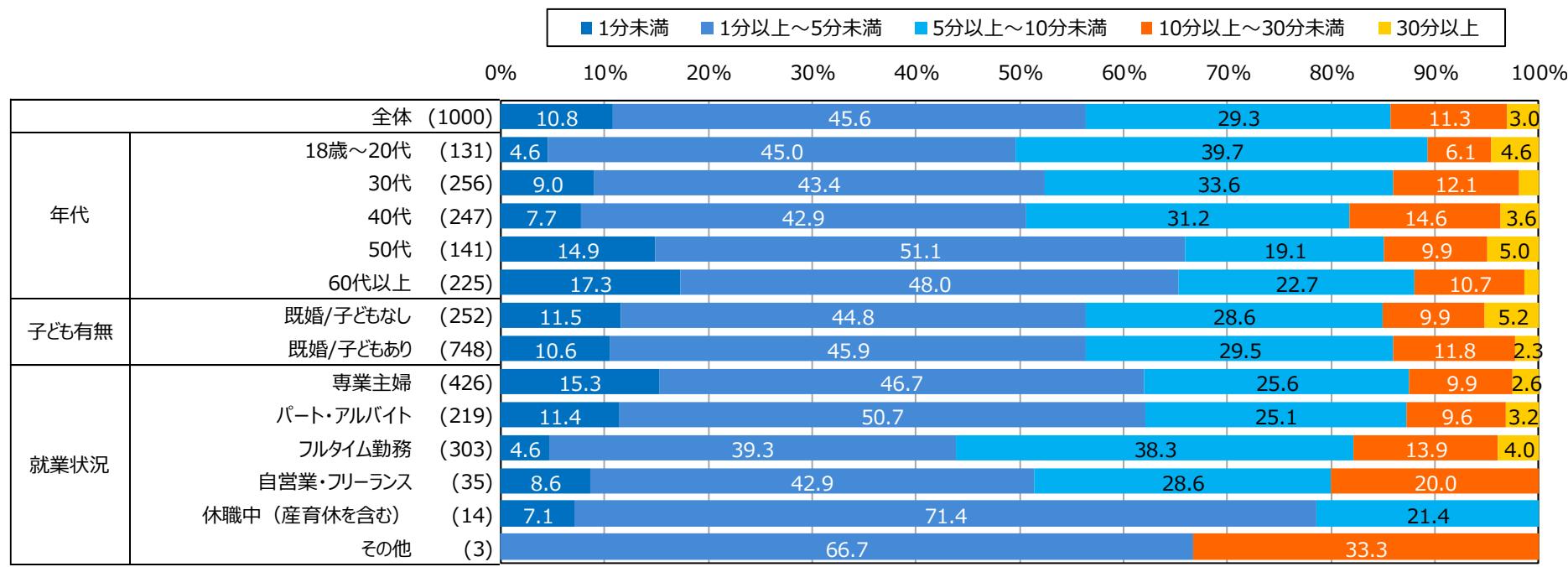
Q4 あなたはAIをどんな時に利用していますか。 (MA)

- AIの利用場面について最も高いのは、「健康・美容に関する相談」で32.2%である。次いで「献立づくり・レシピ相談」(25.0%)、「雑談/話し相手になってもらう」(22.4%)と続く。
- 年代別で見ると、30代では「育児に関する相談（子どもへの声かけ、遊び案など）」が24.2%と全体と比較して高く、50代では「健康・美容に関する相談」が42.6%と全体と比較して高い。



Q5 あなたがAIを利用する際の、1回あたりの利用時間を教えてください。 (SA)

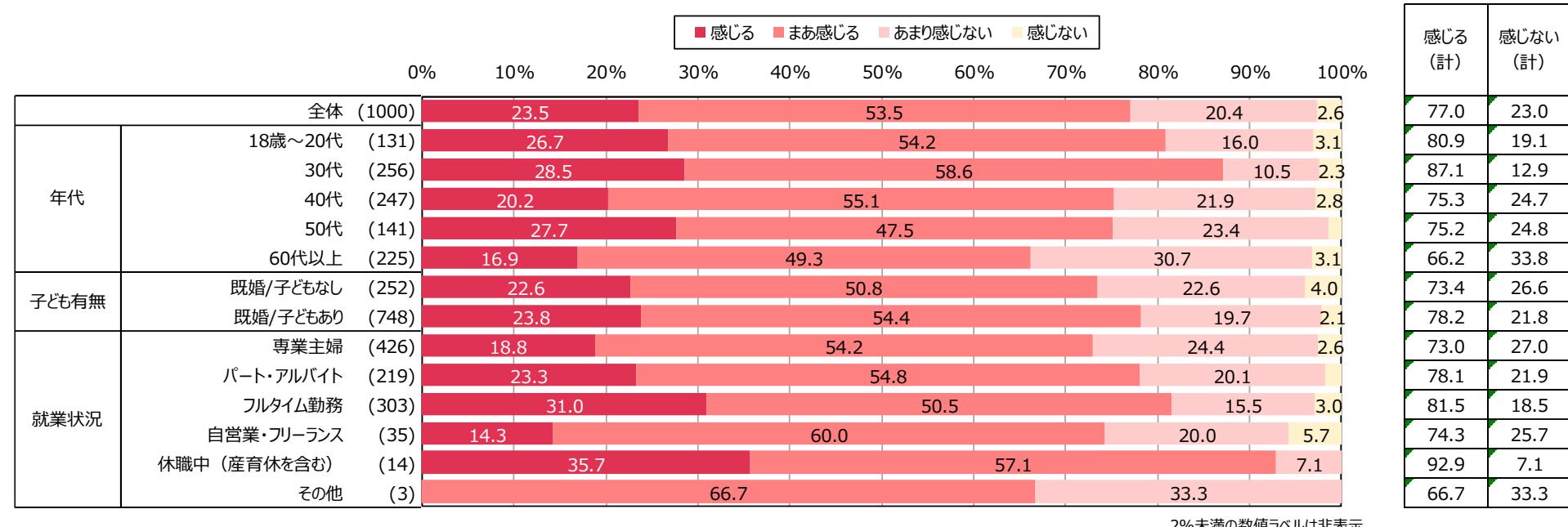
- AIの利用時間について最も高いのは、「1分以上～5分未満」で45.6%である。次いで「5分以上～10分未満」(29.3%)、「10分以上～30分未満」(11.3%)、「1分未満」(10.8 %)、「30分以上」(3.0%)と続く。



# AIを使うことで生活が楽になったかどうか

Q6 あなたは、AIを使うことで「生活がラクになった」と感じますか。 (SA)

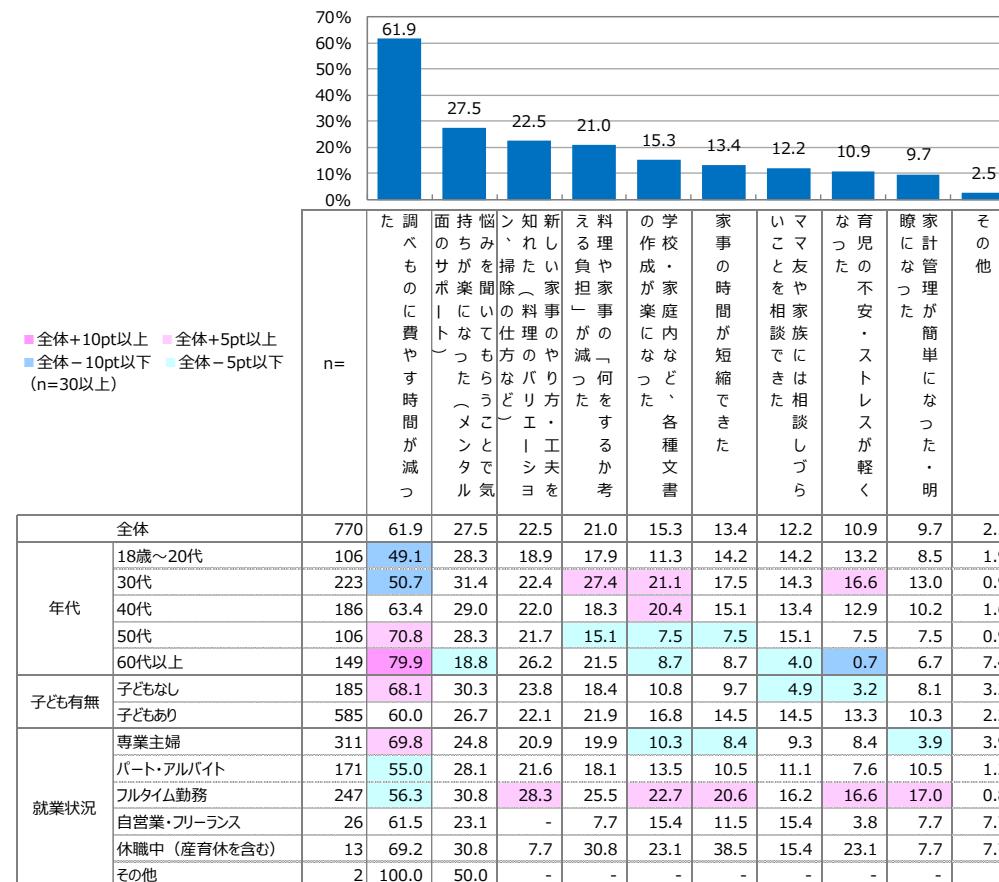
- AIを使うことで生活が楽になったかどうかについて、「感じる」 (23.5%) と「まあ感じる」 (53.5%) の合計は77.0%である。



## 生活が楽になったと感じる場面

Q7 あなたが「ラクになった」と感じる場面を教えてください。(MA)

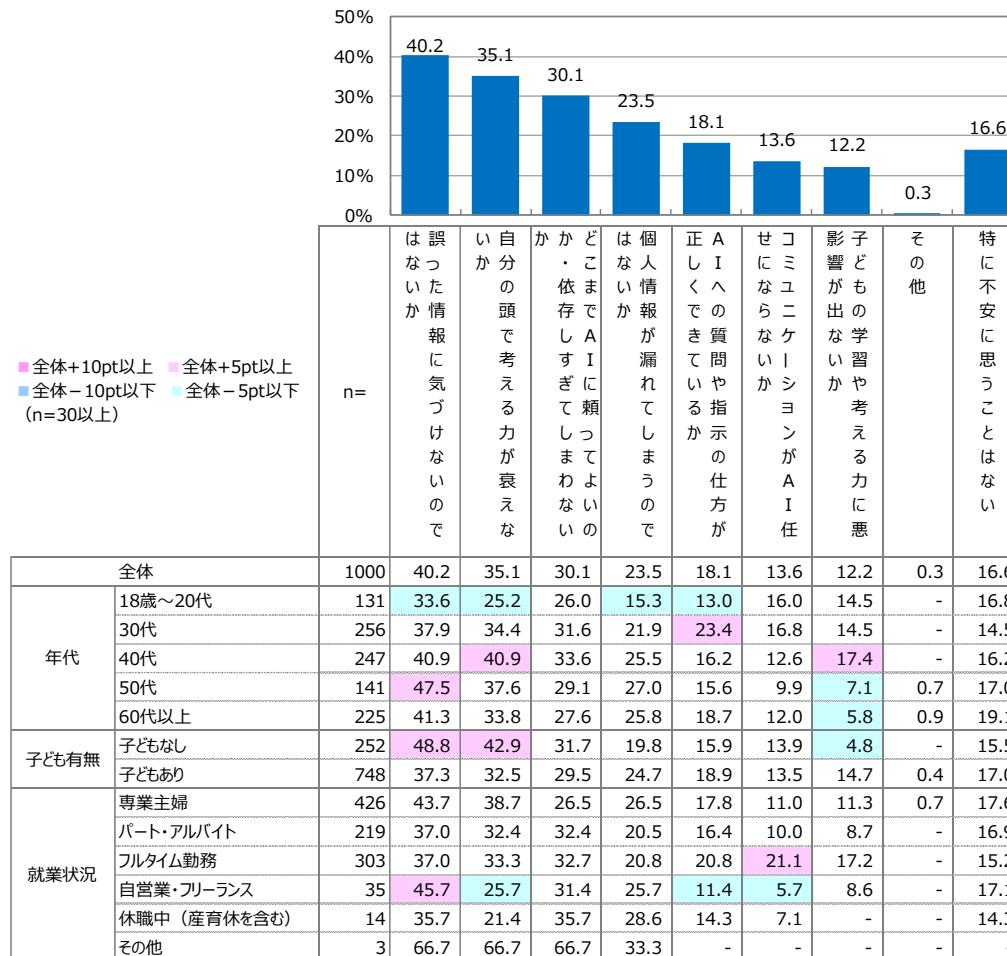
- 生活が楽になったと感じる場面について最も高いのは、「調べものに費やす時間が減った」が61.9%である。次いで「悩みを聞いてもらうことで気持ちが楽になった（メンタル面のサポート）」(27.5%)、「新しい家事のやり方・工夫を知れた（料理のバリエーション、掃除の仕方など）」(22.5%)、「料理や家の「何をするか考える負担」が減った」(21.0%)と続く。
- 年代別で見ると、60代以上では「調べものに費やす時間が減った」が79.9%と全体と比較して高い。



# AI利用の不安点

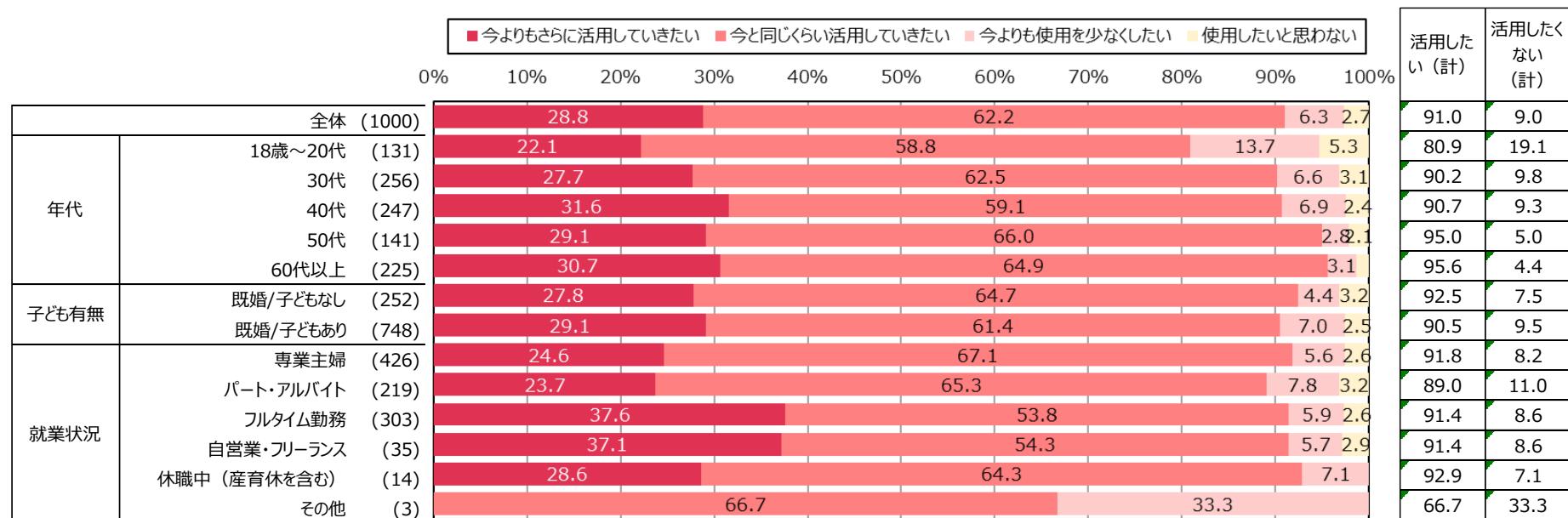
Q10 AIの利用で、あなたが不安に思うことを教えてください。 (MA)

- AI利用の不安点について最も高いのは、「誤った情報に気づけないのではないか」で40.2%である。次いで「自分の頭で考える力が衰えないか」(35.1%)、「どこまでAIに頼ってよいのか・依存しすぎてしまわないか」(30.1%)と続く。



Q13 あなたは今後、AIをどのくらい活用したいと思いますか。 (SA)

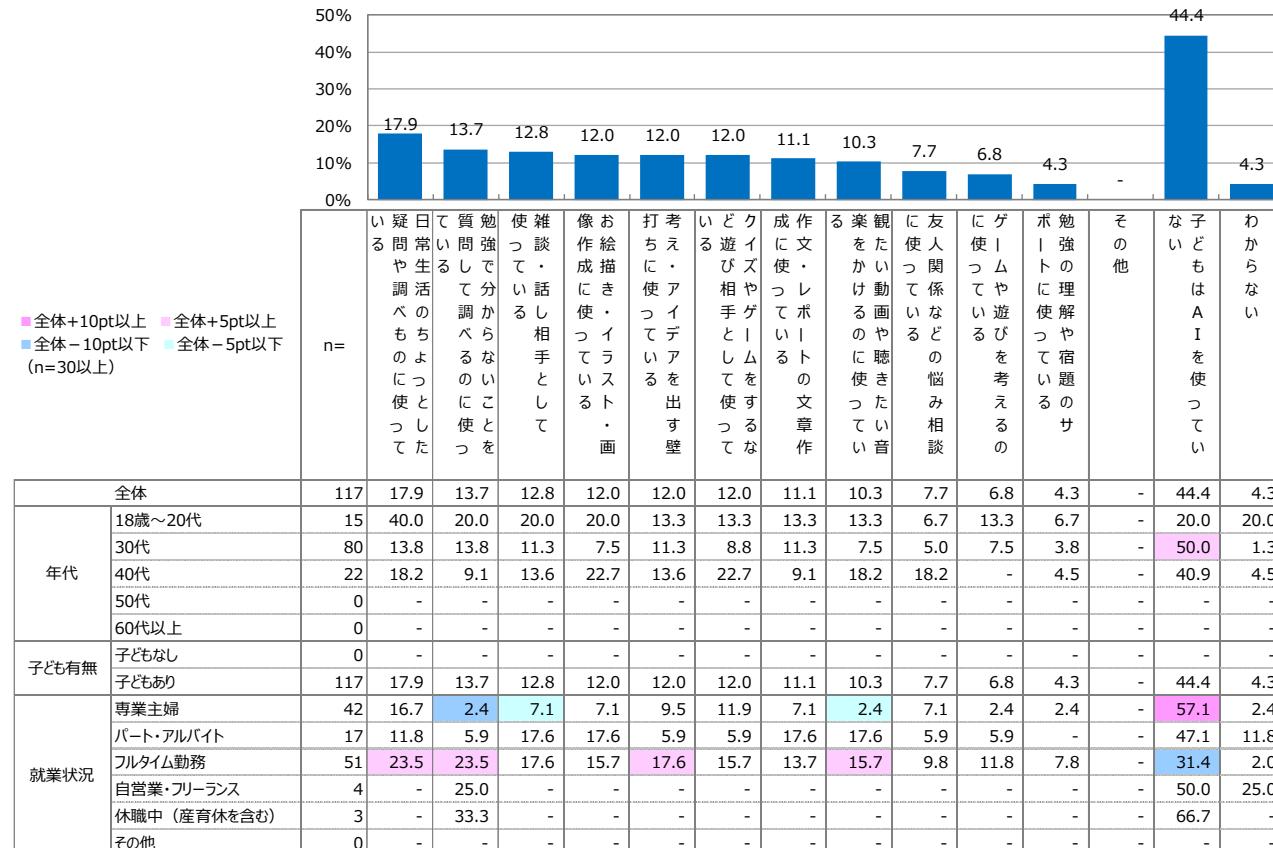
- 今後のAI活用意向について、「今よりもさらに活用していきたい」 (28.8%) と「今と同じくらい活用していきたい」 (62.2%) の合計は91.0%である。



# 子どものAI活用状況【未就学の子ども（4～6歳程度）】

Q14S1 [未就学の子ども（4～6歳程度）]4歳～高校生のお子様がいらっしゃる方にお聞きします。あなたのお子様の、AIの活用状況をお教えください。（MAMT）

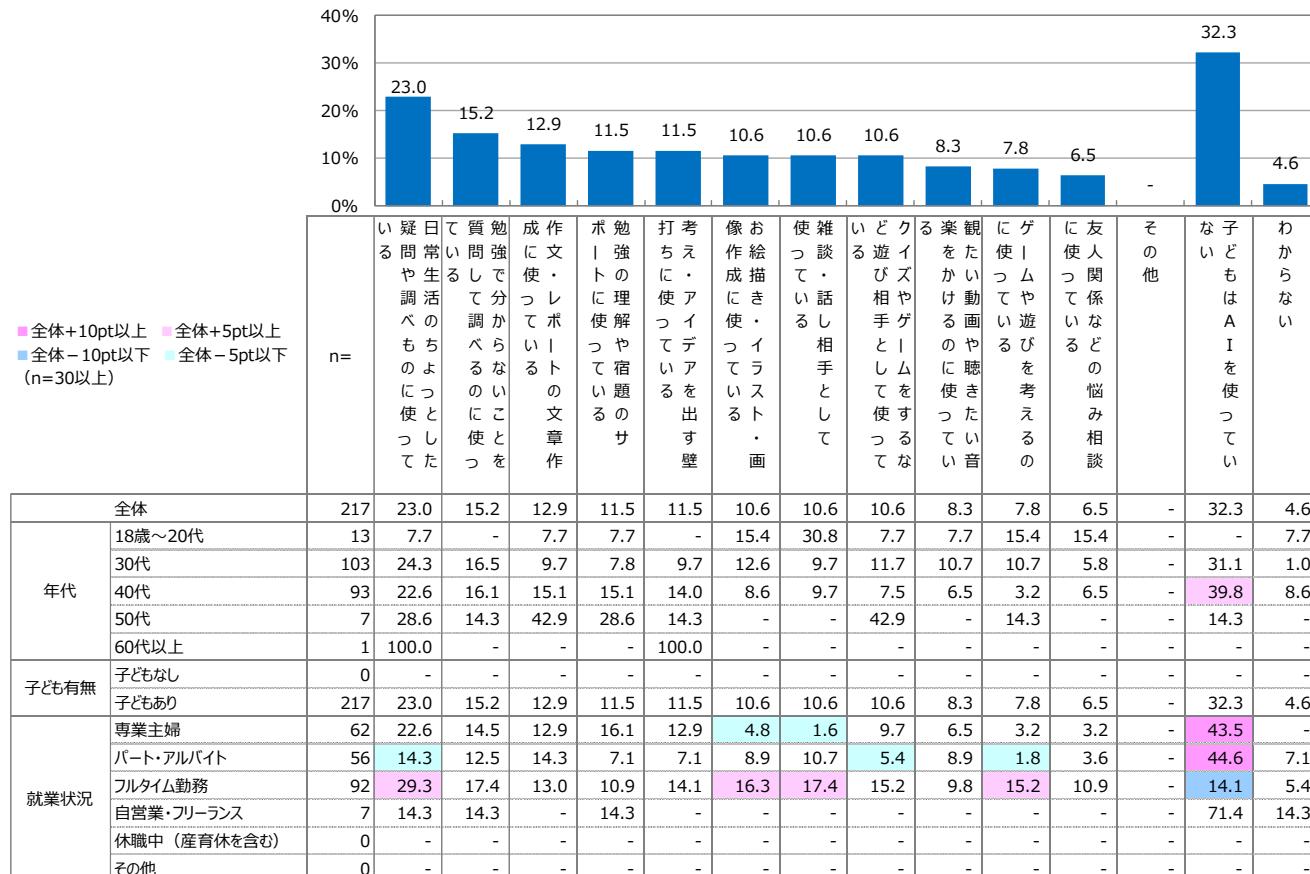
- 未就学の子ども（4～6歳程度）のAI活用状況について最も高いのは、「日常生活のちょっとした疑問や調べものに使っている」で17.9%である。次いで「勉強で分からぬことを質問して調べるのに使っている」（13.7%）、「雑談・話し相手として使っている」（12.8%）、「お絵描き・イラスト・画像作成に使っている」「考え・アイデアを出す壁打ちに使っている」「クイズやゲームをするなど遊び相手として使っている」（12.9 %）と続く。



## 子どものAI活用状況【小学生の子ども】

Q14S2 [小学生の子ども]4歳～高校生のお子様がいらっしゃる方にお聞きします。あなたのお子様の、AIの活用状況をお教えてください。(MAMT)

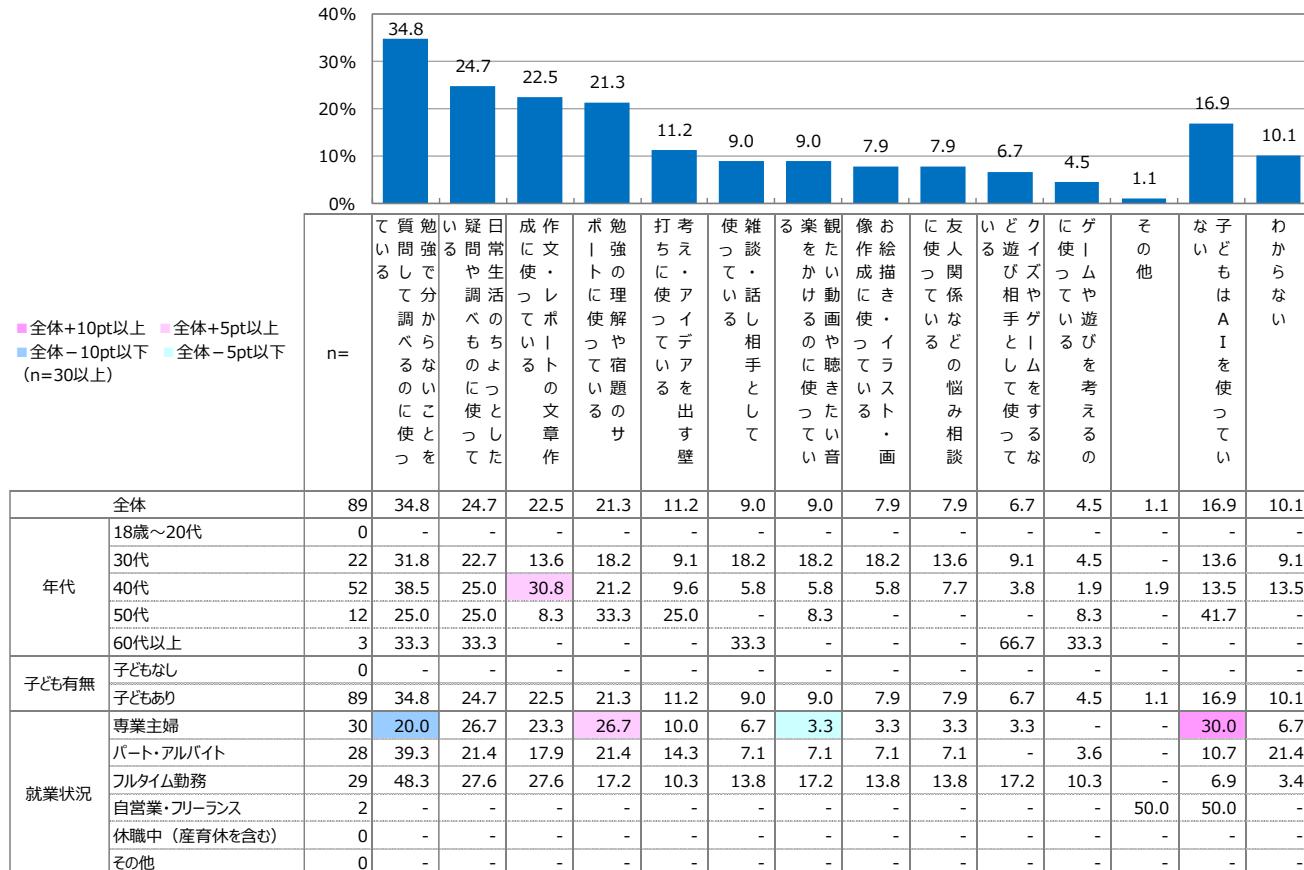
- 小学生の子どものAI活用状況について最も高いのは、「日常生活のちょっとした疑問や調べものに使っている」で23.0%である。次いで「勉強で分からぬことを質問して調べるのに使っている」(15.2%)、「作文・レポートの文章作成に使っている」(12.9%)、「勉強の理解や宿題のサポートに使っている」、「考え・アイデアを出す壁打ちに使っている」(11.5 %)と続く。



# 子どものAI活用状況【中学生の子ども】

Q14S3 [中学生の子ども]4歳～高校生のお子様がいらっしゃる方にお聞きします。あなたのお子様の、AIの活用状況をお教えください。 (MAMT)

- 中学生の子どものAI活用状況について最も高いのは、「勉強で分からぬことを質問して調べるのに使っている」で34.8%である。次いで「日常生活のちょっとした疑問や調べものに使っている」(24.7%)、「作文・レポートの文章作成に使っている」(22.5%)、「勉強の理解や宿題のサポートに使っている」(21.3 %)と続く。



# 子どものAI活用状況【高校生の子ども】

Q14S4 [高校生の子ども]4歳～高校生のお子様がいらっしゃる方にお聞きします。あなたのお子様の、AIの活用状況をお教えください。 (MAMT)

- 高校生の子どものAI活用状況について最も高いのは、「日常生活のちょっとした疑問や調べものに使っている」で30.9%である。次いで「勉強で分からぬことを質問して調べるのに使っている」(27.2%)、「作文・レポートの文章作成に使っている」(18.5%)、「勉強の理解や宿題のサポートに使っている」(13.6 %)と続く。

